



朝倉学生環境フォーラム

6月2日(日)、あまぎ水の文化村で朝倉学生環境フォーラムが行われました。今回の子供の森計画子供親善大使の最後のプログラムとして地元朝倉からの参加者を含め約50名でのフォーラムとなりました。

グリーンウェイブ朝倉水源の森実行委員会のこれまでの活動報告から始まり、オイスカと子供の森計画の概要説明、十文字中学校の学校での取り組み、子供親善大使の現地活動報告、朝倉市豪雨被害と復興に向けた取り組みなどが発表されました。

また、学生環境宣言が提唱され、中島秀樹朝倉市議会前議長に手渡されました。終了後には十文字中学校の生徒や教師、保護者などが植林地を見学され、これまでの活動についてのご理解をいただきました。今後もこの活動を継続し、未来につなげるフォーラムになりました。(安東)



6月は田植えイベント盛り沢山

今年は記録的な雨不足で、一時どうなることか心配されましたが、以下に記載されている通り、オイスカの田んぼでは例年通り4回の田植えイベントが開催されました。

<田植えイベント開催実績>

- ・こらぼらQでん田植え大会(6月1日(土):参加者 約150名)
- ・オイスカ主催「田植え大会」開催(6月8日(土):参加者 約90名)
- ・若竹保育園(年長組)田植え参加(6月14日(金):参加者 約40名)
- ・脇山小学校田植えイベント参加(6月22日(土):参加者 約200名)



今年の田植えイベントで印象的だったことは、脇山小学校での田植え大会が、当初6月15日(土)に予定されていましたが雨天のため延期となった事です。

過去を遡っても雨で延期になったことは珍しく、22日の田植えでの参加者が少ない中どうなることか心配されましたが、さすが脇山、当日は「脇山力」が大いに発揮され、予定されていた古式ゆかしき「お田植」の披露と田植えイベントを無事開催することが出来ました。

今期は総勢で500名ほどの方に田植えイベントに参加していただきましたが、稲の生育中に大きな災害や天候不順がなく、沢山の実りの秋を迎えられるように、みんなで気にかけていければと思います。(豊田)



こらぼらQでん田植え大会の様子



オイスカ主催田植え大会の様子



若竹保育園田植え大会の様子



脇山小学校田植えイベント

OB 研修生の紹介コーナー ⑥



A.M.C.K.B. Alahakoon です。アラハコーンです。でも、日本ではコーンと呼ばれていますが。スリランカ人です。1993年度の農業一般(JICA)の研修生です。初めての海外の生活は大変でしたが毎日のように新しいことを勉強ができました。おかげさまで1年が終わって国へ帰る時に日本語をしゃべることができました。日本を慣れる時は胸が痛くなりました。そこまで日本を好きになり、ほかの国の仲間たちも大好きでした。国へ帰ってスリランカの青年スポーツ省の研修センターで働きました。その仕事をやりながらオイスカ子供の森計画の学校コーディネーターをやりました。2年後、オイスカスリランカ事務所に入りました。仕事は CFP の学校を回って子供たちに環境のことやオイスカについての話とレポートを作ることでした。1997年にオイスカ中部日本研修センターへ OB 研修で入りました。その時には一回目より日本語も勉強できてレベルアップすることができました。1998年にまた国へ帰りましたが2000年にオイスカ中部センターにスタッフとして組織部に入りました。私の仕事は日本の子供たちにオイスカのことや環境のこと、そして子供の森計画について教えることでした。約3年間の仕事をしていたがライオンズクラブ、ロータリークラブのいろいろな集まりでオイスカの宣伝などをやってきました。2003年に国へ帰りました。2006年にオイスカスリランカの事務局長になりました。2007年には日本の皆様のご支援のうで土地を購入してスリランカになかった研修センターを作るためオイスカ OB の仲間と頑張ってきました。完全には終わっていないのですが研修を始めてオイスカ中部センターや西日本センターには次の世代のリーダーを作るために研修生を送ることができました。子供の森計画にも力を出して頑張っております。子供の森計画がもっと活発になり色々な方々が参加しやすいようにして LOVE GREEN KIDS, OISCA TOMO CLUBなどを紹介しました。オイスカ活動をもっと広げるために現場の事務局長として責任を感じています。皆様の温かい心のご支援とご協力を心よりお待ちしております。またいつかスリランカで会えることが楽しみです。どうぞよろしくお願いします。



子供大使の引率で子供達と先生が販売準備をしている様子



私の家族(長女11歳、長男10歳、次女7歳)



日本のお客さんと CFP の学校訪問



CFP の学校での環境教育の様子

OB 研修生の紹介コーナー ⑦



パプアニューギニアの Modesthus Jordan Domoni です。ニックネームはディーです。2015年度の環境保全型農業技術研修生でした。研修が終わりまして、オイスカラバウル研修センターに入りました。現在センターでフォレストリーの先生をしています。色々な木の苗の作り方を研修生に教えています。ナーサリーの仕事や植えた木の間引きや収穫も担当しています。子供の森計画の取り組みと自分の畑も少しやっています。自分の畑では野菜やお米、スイカを栽培しています。あとは鶏と豚も育てています。皆さんにまた会いたいです。是非、パプアニューギニアに遊びに来てください。

ナーサリーも担当して、研修生達にも管理の仕方をお教えます



子供の森の活動で木を植えている様子



自分の畑の野菜



1歳2カ月の子供と奥さん



植えた木の間引き作業の様子



収穫をしている様子

アトリエ木下サマースクール交流会開催

6月19日(水)、毎年研修生の写真撮影などでお世話になっています「アトリエ木下」より、52名の社員の方に参加していただき、サマースクールという事で研修会がセンターで開催されました。

研修会の内容については、午前中にオイスカの理解を深めるという事で廣瀬所長から説明があり、昼食時にはグラウンドにてバーベキュー大会が行われました。

今回は特別にフィリピン名物の「レチョン：豚の丸焼き」を2匹提供し、日頃食べることが出来ない珍味をしっかりと堪能していただきました。

午後の時間帯については、農業体験という事で田んぼでの草取りとサツマイモの苗植えを行い、皆さん泥にまみれながらしっかりと汗をかいていただきました。

当日は天候にも恵まれ、研修生ともしっかりと交流を深めていただき、大変有意義な交流会を行うことが出来ました。(豊田)

サツマイモを植える作業の様子



BBQの後皆で楽しくゲームをしている様子

体験農園だより

今年の夏野菜は、雨が例年より少ないため病気は少ないのですが、アブラムシの被害が多くて困りました。特にウリ類が大きな被害を受けてキュウリなども何本か枯れてしまいました。現在は被害も落ち着いて、これから夏野菜の収穫真っ盛りの季節を迎えます。去年もこの時期に雨が少なく、今年は野菜の生育が良いかと思いきや、7月はじめの大雨で大きなダメージを受けたことが思い出されます。

これから梅雨に入りますが、出来る範囲で備えを怠らないように準備をしていきたいと思います。(豊田)



東峰村炊き出しボランティア参加

6月20日(木)、九州電力からの要請を受けて、今回で2回目となる東峰村の仮設住宅での「炊き出しボランティア」に家政科研修生2名を連れて行ってきました。

今回振る舞われた料理は、インドネシアのナシゴレン(焼き飯)とスープ、マレーシアのジャガイモを使ったお菓子でしたが、20名程の方に来ていただいて美味しくご馳走を食べていただきました。

お腹がいっぱいになった後には、写真を使って国の紹介もさせていただきましたが、日頃仮設で一人暮らしをしている年配の方が多いので、みなさん喜んで発表を聞いていただきました。(豊田)



研修生の紹介コーナー ②



メキシコから来ました。**Moises Rodriguez Peña** です。ニックネームはモイです。

今年の8月に25歳になります。農業一般コースの研修生です。私は日本へ来る前にオイスカメキシコの子供の森計画を手伝いました。オイスカメキシコはオイスカのファミリー(組織)の中でまだ若いと聞いておりておりますが素晴らしい活動を行っています。そして、家族の畑(ハイドロポニア)を手伝いました。

☺ ☺ ??モイさんに聞いてみましょう?? ☺ ☺

●メキシコのおすすめの場所は? ➡ **チチェン・イツァ**です。1988年にユネスコ世界遺産に登録されたメキシコのマヤ文明の遺跡です。チチェン・イツァ周辺には川や湖沼がなく、石灰岩の岩盤が陥没して地下水が露呈した天然の湖セノーテが唯一の水源でした。70年頃から宗教儀礼に用いられるようになり、雨が降らない時や豊作を願う時、雨と嵐と稲妻の神チャークの予言を伺うために、財宝や生贄の人間が投げ込まれたそうです。スペイン征服時のスペイン人の記録によれば、吉兆を占うために、定められた日に女性を放り込んだとしています。また、この記録によれば、この女性は後に泉から引き上げられ、吉兆を語ったとされています。後にアメリカの探検家エドワード・トンプソンがこの泉にもぐり、人骨やたくさんの財宝を発見しました。

●日本料理で何が1番好きですか? ➡ 日本料理はほとんど美味しいですが天ぷらが一番好きです。

●日本での目標は何ですか? ➡ 今、色々な国から来ている研修生に会うことができたのでそれぞれの文化などを知りたいです。また富士山を見るのが夢でしたが飛行機に乗った時に窓から富士山を見ることができました。

●好きなことばはなんですか? ➡ ベニトファレスの言葉で、el respeto al derecho ajero es la paz です。日本語で、「平和への権利を尊重することは大切だ」という意味です。皆さん、他の人を尊重しましょう!



チチェン・イツァ



インドから来ました。チベット人の **Tsultrim Sangmo** です。ニックネームは**サンモ**です。26歳です。農業一般コースです。私の家族は農家の人ですので、家族と一緒に農作業をしました。そして、冬に外でやっている販売のビジネスの仕事をしました。

☺ ☺ ??サンモさんに聞いてみましょう?? ☺ ☺

●チベットのおすすめ料理は? ➡ **トウクパ**です。チベット文化圏で作られている、日本のうどんに似ている食べ物です。一般的にスープは塩味で、少しの野菜と、時にマトンやヤクの肉が加えられます。伝統的には、日本の手延べうどんと同じ製法で小麦粉を用いて製麺して、肉を入れると肉うどんとびっくりするほど味が似ています。私たちの主な食べ物はトウクパとモモです。私たちの家でいつも作られています。特別の日とかお正月とか結婚式とか特別な美味しい料理を作ります。

●日本料理で何が1番好きですか? ➡ 日本の食べ物は栄養価が高いです。そして、健康に良いと思います。そして、日本米が大好きです。

●日本はどうですか? ➡ 日本は清潔で素晴らしい国です。

すべての人々は非常に尊敬しており、彼らはすべて平等に扱います。

●好きな言葉は何ですか? ➡ 人生は貴重なので、私たちは自分の人生で何か良いことをしなければなりません。私たちは他の人達に同情的で暖かい人であるべきです。私たちが人生で出会うことで、どんな心痛でも忘れるほうが良いと思います。



トウクパ



長崎県推進協議会総会 & 長崎県立大学交流会参加

6月4日(火)、長崎県推進協議会の年次総会が佐世保市内のホテルにて開催されました。

参加された会員は7名と少なかったですが、数年前より活発になっている大学生との交流会の報告等もあり、今後の推進協議会の更なる発展が期待される総会となりました。

その後、場所を移して長崎県立大学での学生との交流会が15時半より開催されました。

今年で3回目を迎える本事業は、学生を対象とした講演会への参加や学生が主体となって実施している交流会の開催など、盛りだくさんの内容で研修生を出迎えてくれました。

交流会の中では、女性の研修生が浴衣の着付けを初めて体験させていただき、とてもよい思い出をつくることが出来ました。

今回の交流会をきっかけとして、7月には学生7名がセンターを訪問する事業も予定されています。今後の大学との交流、連携に大いに期待が寄せられています。(豊田)



大野城国際交流協会 TOMORROW

6月29日、大野城国際交流協会より13名が来所され、トマトの収穫、料理交流を体験していただきました。料理はマレーシア、フィリピン、パプアのものを作り、どれも美味しくできました。交流会に参加するのは今年で2、3回の人や、10回目の方もいました。「研修生達はみんな優しくて明るいですね。」と参加者の方が話していました。午後には皆でレクレーションをして、しっぽとりゲーム、ドッジボールは特に盛り上がりました。みんな体を張っていたので筋肉痛になったようですが、楽しい時間を過ごすことができて良かったです。また来年もよろしくお願いします。(園田)

楽しくゲームを
している様子



料理
交流会の様子



脇山小学校対面式

6月3日、脇山小学校の対面式がありました。子供達は研修生との交流を心待ちにしていたようで、大歓迎してくれました。ゲームや国の紹介をして、みんなで踊りました。フィジーのダンス、メケは去年と違う曲で踊りましたが、子供達は覚えるのが早く、研修生と一緒に踊っていました。国の紹介では研修生達はまだまだ話したりない様子でした。子供達との別れ際には、名残惜しそうにしておりましたが、これから夏の祭り、稲刈り、運動会などいろいろな行事があります。これから一緒に楽しい思い出を作っていきましょう!(園田)

自己紹介をしている様子



研修生農業関連の展示会に参加

6月27日(木)、マリンメッセにて開催された「アグロイノベーション 2019」に、日頃からお世話になっている「酵素の世界社」からの招待で、研修生全員を連れて参加してきました。主な内容はスマート農業(自動化)の展示や猛暑対策の空調器具など、研修生にとっては初めて見る最先端の技術ばかりで、大変興味深い展示がされていました。

そして、翌日の28日(金)に、福岡国際センターで開催された「九州クボタ」の展示会では、日頃よりお世話になっている「ハートフィールドさかもと」様より招待を受けて研修生全員で参加してきました。

大型トラクターから田植え機、コンバインなど新機種がズラリと並んでいて、研修生は「お金がないから買えません」と冗談まじりで話していました。

それでも研修生は、無料のカタログをたくさんもらって喜んで帰ってきました。

研修生の国の農業事情と比較して、まだ夢のような世界かもしれませんが、近い将来には農業の大型化、自動化が進んでくることは間違いのないため、少しでも今回の経験が参考になるのではないかと思います。

(豊田)



熊本県西原村ボランティア参加

6月18日(火)、今年度2回目となる熊本県西原村でのボランティア活動に、研修生とスタッフ合わせて17名で参加してきました。

男性チームは西原村の古閑地区という所で田んぼの畔まわりと共有地の草刈り作業を行い、女性チームはサツマイモの苗場の片付け作業を、蒸し暑いビニールハウスの中で汗をかきながら行いました。

震災からちょうど3年が過ぎましたが、被災した地域では大型ダンプが行きかい、復興作業が急ピッチで進められています。

今回の草刈り作業の近くに墓地があったのですが、殆ど手が付けられておらず、壊れたままの状態になっていました(昔は土葬が多く、なかなか手が付けられないとの説明がありました)。大通りから見た感じでは復興作業は終了したかのように思いますが、まだまだ道半ばであることを実感しました。(豊田)



指導員研修コースのニコさんの挨拶

皆さん、指導員研修コースで来日したニコです。

オイスカのサポーターの皆さん、15カ月間本当にありがとうございました。

この15カ月間の研修で、農業だけではなく、日本人の働き方も勉強をしました。日本での勉強は素晴らしかったです。フィジーへ帰っても、いつも日本人の事は絶対に忘れません。私の第2のふるさととは福岡です。特に、脇山



校区です。第2のふるさとを思い出して頑張りたいと思います。今考えると、また日本が懐かしくなってきました。貯金をして、また日本へ行きたいです。フィジーで元気で頑張りますので、皆さんも元気で頑張ってください。フィジーで待っていますので、是非、オイスカのプロジェクトやOBのプロジェクトを見に来てください!!

